一人一職から、一人多職

岡野ゼミ

メンバー氏名
浅野陽太　幸野耀　笹山勇紀　青野唯吹

私たちは街の運営として、
マルチワークの安定収入を立ち上げたいので、
石巻圏内でなりわいを作るための行政との連携
を希望します

解決したい課題

人口減少が進む石巻で、特に水産業の担い手不足に着目

石巻の漁業就業者

2018年：1,903人

2023年：1,569人

5年間で334人減（約17.6%減）

後継者不足

石巻市も「後継者育成」が課題と明記

水産業の経営環境の向上が必要

私たちの着眼点

漁業だけで生計を立てることへの不安

「一つの仕事」に依存しない働き方へ

人口減少 → 働き手減少 → 担い手不足 → 地域産業の維持が難しくなる

だからこそ「人を増やす」だけでなく、「一人が複数の仕事を支える」仕組みを考える

放置された未来と、実現したい未来

放置した場合

担い手不足が続く
漁業・水産加工の人材確保が難しくなる
若い世代が仕事を選びにくくなる
地域産業の縮小につながる

実現したい未来

ダブルワークで収入・経験の選択肢が増える
若者が水産業に挑戦しやすくなる
世代交代・新しい人材の流入につながる
水産業を「続けられる仕事」に変えていく

目標：住みやすさ × 挑戦 × 安心

事業アイデアの概要

水産業と「人手が必要な仕事」をダブルワークでつなぐ



私たちの役割：新しく生まれる「ダブルワーク需要」を見つけ、企業と人をつなぐ仲介役

この事業が生む変化

「漁師は不安定」から、「複数の仕事で安定と成長をつくる」へ

働く人

収入源を増やせる
別分野の知識・スキルを得る
新しい仕事に挑戦できる
将来の選択肢が増える

水産業・企業

必要な時間に人材を確保
新しい人材との接点が増える
若者の知識・スキルを取り込める
将来の担い手候補を増やす

石巻のまち

仕事の選択肢が増える
産業を支える人が増える
Uターンのきっかけになる
「住み続けたい」理由を増やす

行政とのパートナー連携案

行政には「お金」ではなく、地域をつなぐ力を借りたい

STEP 1　私たちが行うこと

水産業・水産加工・地域企業の求人を集める
ダブルワーク希望者を募集する
求人サイト等でマッチングする
小規模な実証実験を行う

STEP 2　行政にお願いしたいこと

地域事業者・漁業関係者との橋渡し
市広報・掲示板・学校等での情報発信
ハローワーク等との連携
実証実験の共催・データ評価

行政 × 私たち × 地域企業 × 市民

私たちが実現したい石巻

「一人一職」から「一人多職」へ

収入
複数の収入源

挑戦
新しい仕事・経験

成長
知識・スキルUP

定着
残る・戻る選択肢

人材の成長が、地域産業の成長につながるまちへ。

最初の1年でのスモールスタート

まずは「漁業 × 水産加工」の1つのマルチワークから始める

STEP 1｜協力者を集める

漁業者・水産加工会社を各1〜2事業者

参加者を5〜10人程度募集

大学・SNSなどで低コストで募集

STEP 2｜実際に働く

漁業＋水産加工を組み合わせる

週1〜2日など小さく実施

1〜3か月の実証実験にする

STEP 3｜効果を検証

収入・働きやすさ・満足度を調査

企業側の人手不足も確認

成功・課題を次の展開へつなげる

1年目：水産業　→　2〜3年目：介護・育児・観光などへ拡大　→　石巻版「マルチワーク」へ

大きく始めず、小さく成功させて「石巻に合う働き方」を証明する。

参考

出典：石巻市「石巻市過疎地域持続的発展計画」（漁業センサス）／農林水産省「2023年漁業センサス」

石巻アイデアソン　松本さんの資料

https://www.jfa.maff.go.jp/j/kikaku/wpaper/r06_h/trend/1/t1_2_3.html　水産庁
https://www.jfa.maff.go.jp/j/kikaku/wpaper/r05_h/trend/1/t1_f_1_1.html　水産庁